

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2000-282801(P2000-282801A)

【公開日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平11-338906

【国際特許分類】

F 01 D 5/08 (2006.01)

F 02 C 7/18 (2006.01)

【F I】

F 01 D 5/08

F 02 C 7/18 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月29日(2006.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱媒体を流す流路をタービン内に画成する第1および第2部品であって所与温度に対して相異なる熱応答をなして両部品間の相対移動を発生する第1および第2部品と、前記第1部品により前記流路内に担持されたシールとを含み、前記シールは両部品間の前記相対移動に応じて、前記流路を通る前記熱媒体の流れを調整し、これにより前記流路を通る前記熱媒体の流れを増すか減らして前記第2部品の温度を調整する、タービンにおいて、

第3部品と前記第2部品が互いに結合されそして相異なる所与温度に応じて両部品間の過渡的な熱的不整合を発生し、前記シールは前記流路を通る熱媒体の流れを調整して前記一方の部品をある温度まで加熱または冷却して前記一方の部品と前記第3部品との熱的不整合の大きさを所定の熱的不整合以内にとどめ得るよう構成され、

前記第3部品はバケットを支持するタービンロータホイールからなりそして前記第2部品は前記タービンロータホイールとのさねはぎを有する隣接ホイールからなり、前記隣接ホイールは加熱または冷却されて前記タービンロータホイールと前記隣接ホイールとの熱的不整合を所定熱的不整合以内に減らして両ホイール間のさねはぎの相対変位を防止する、タービン。

【請求項2】 前記シールは前記第1および第2部品の一方の前記第1および第2部品の他方に向かう移動に応じて前記流路を通る流れを減らして両部品の一方または他方から前記熱媒体への熱伝達を減らす、請求項1記載のタービン。

【請求項3】 前記シールは前記第1および第2部品の一方の前記第1および第2部品の他方から遠ざかる移動に応じて前記流路を通る流れを増して両部品の一方または他方から前記熱媒体への熱伝達を促進する、請求項1記載のタービン。

【請求項4】 前記第1および第2部品はそれぞれ前記タービンの静止構成部と回転構成部からなる請求項1記載のタービン。